

京都大学経営管理大学院

女性エグゼクティブ・リーダー
育成プログラム

2026

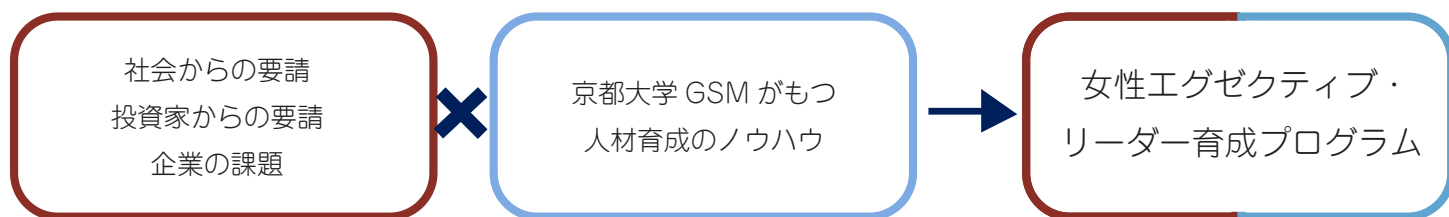


WEL
Women's Executive Leadership

女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラム

- 研究 × 実務 の融合によるリーダー育成 -

近年、世界的に、企業の上層部におけるジェンダーダイバーシティの重要性が高まっており、さらに、多くの先進諸国や一部の新興国では、上層部におけるジェンダーダイバーシティに関する規制も導入されています。今後、ESG 投資の拡大に伴い、日本企業においても、社会的責任（CSR）の一環として、ジェンダーダイバーシティの推進が一層求められていくと考えられます。一方で、日本における上場企業の取締役会に占める女性の割合は、近年上昇傾向にあるものの、約 12%（2024 年）にとどまっているのが現状です。こうした状況を踏まえ、日本企業のトップマネジメントにおけるダイバーシティを推進するためにはどうすればよいのか、女性のエグゼクティブ・リーダーを育成するにはどのような人材投資や開発が必要であるか。これらの社会的課題と要望に応えるために、京都大学経営管理大学院は、将来の女性エグゼクティブ・リーダーの育成を目的としたプログラムを 2023 年秋から開講いたしました。



なぜジェンダーダイバーシティが必要なのか？

近年の研究により明らかになったところでは、取締役会において女性が一定数存在し、ジェンダーバランスのとれたトップマネジメントが形成される場合、男性のみからなる取締役会と比較して以下の傾向が観察されることが明らかとなりました。

- 意思決定のプロセスに多様な意見が持ち込まれることによって、企業のイノベーションの促進が期待される
- 企業の CSR パフォーマンスの向上が期待される
- 多様な顧客および従業員の様々なニーズを汲み取ることができるようになることで、相互理解の促進が期待される
- 人材採用において女性応募者数の増加や企業の人材適合性向上による女性応募者層の拡大が期待される

さらに、機関投資家・個人を問わず、ESG や取締役会のジェンダーバランスを重要視する傾向が広まっており、企業がジェンダーダイバーシティに留意していることを市場に示すことは非常に重要であるといえます。

京都大学 GSM が力をいれる、研究 × 実務教育

京都大学経営管理大学院（GSM）は日本企業における女性トップマネジメントの層を厚くすることで、企業社会全体の持続的かつ力強い成長の実現を目指しています。その取り組みの一環として、「女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラム」を開講しています。本プログラムでは、ジェンダーバランスに関する研究を推進するとともに、その成果を社会へ還元することを目的として、関連講義の提供に加え、受講者以外の方々も参加可能なセミナーやシンポジウムを開催します。

また、本プログラムに参加する企業は、①本プログラムへの社員派遣、②企業向け特別研修への参加が可能です。



本プログラムの特色

企業のリーダー層における男女平等への関心が高まる中、女性が上位職に就く機会も少しずつ広がってきています。ESG（環境、社会、ガバナンス）投資が増大するにつれて、メディアや一般市民の声を追風として、ジェンダーダイバーシティを含む社会的責任（CSR）に努力する企業が増えています。さらに、そのような取り組みにより、ジェンダーに関する長年のステレオタイプ的な見方や、リーダーの役割に対する女性の意識も、徐々に変化しつつあります。

しかし日本では、活発な株式市場を持つ先進国でありながら、経営幹部層における女性の割合は他の先進国と比べて大きく遅れているのが現状です。日本企業の経営幹部層におけるダイバーシティを、他の先進諸国並みに高めるにはどうしたらよいのか。こうした社会課題に、私たちは貢献したいと考えております。

経営トップの男女平等を実現するためには、企業内における女性役員候補者の層を厚くすることが重要です。また、そのための人材育成は、大学やビジネススクールに期待される重要な役割の一つであると考えています。海外の女性リーダーシッププログラムを提供しているオックスフォード大学やハーバード大学の取り組みも参考にしながら、京都大学経営管理大学院では、女性を対象としたエグゼクティブ MBA プログラムを開講することとしました。参加者の皆様と京都大学でお会いできることを楽しみにしております。



経営管理大学院 教授 / プログラム長 アスリ・ Cholpan

1. オンラインと対面を効果的に組み合わせたプログラム

経営戦略やリーダーシップなど、体系的な経営知識および女性役員候補に特化した内容は、座学としてオンラインで学べます。一方、オンラインだけでは得られない貴重な経験として、以下は対面で提供します。

- ・ 女性エグゼクティブによるコーチングセッション
- ・ 同じ目標を持つ仲間との交流
- ・ 講師陣とのネットワーキングの機会

対面授業は週末に開催するため、本業と無理なく両立しやすい設計となっています。

2. 女性エグゼクティブ・リーダーの育成に特化したプログラム

MBA が提供する基本的な学術的な知識に加えて、女性リーダーが直面するさまざまな課題を乗り越えるために必要なマインドセットと実践的なスキルの習得も目指しています。

3. 世界で活躍する女性エグゼクティブ達が講師として参加

当プログラムでは、日本をはじめ世界で活躍する女性エグゼクティブを講師としてお招きしています。経営学の理論は研究者の教員から学べますが、実際のビジネス経験を持つ女性エグゼクティブならではの講義は、なかなか得られない貴重な機会です。こうした経験豊かな講師陣によるコーチングセッションやディスカッションを通じて、参加者は将来のリーダーとして必要なスキルを実践的に磨くことができます。

4. 国際経験豊かな教員、講師勢によるレクチャー

経営管理大学院では、ジェンダーバランスとともに、国際性も大切にしています。多様性を尊重する教育環境を実現するため、豊富な国際経験を持つ教員・講師陣を招いています。留学・海外勤務・起業など多彩な経歴を持つ講師陣との学びを通じて、異なるバックグラウンドを持つ人々と協働するために必要な知識やリーダーシップ、そして信頼関係の築き方を身につけることができます。

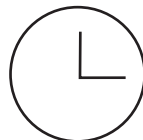
本プログラムの概要

役員を目指している、又は将来に役員候補になり得る女性を対象とする育成プログラムです。プログラムの受講期間は6ヶ月間です。オンライン授業は平日、対面授業は土曜日に開催します。

本プログラムでは、講義、プレゼンテーション、ケーススタディ、パネルディスカッション、グループコーチングセッションなど、参加者がトップマネージャーとして成果を上げるための充実した学習体験を提供します。とくに、女性リーダーが直面する様々な課題やアンコンシャス・バイアスを克服する重要なスキルを身につけるための、女性リーダーに特化した内容となっていることが強みです。また、京都大学経営管理大学院の教授陣に加え、主に女性経営者、コンサルタント、その他様々な専門家とのネットワーキングを通じて参加者の将来のキャリア形成を支援します。



役員を目指している、又は将来に役員候補になり得る女性



6ヶ月間（受講時間：64時間）
自主学習時間：約40時間
（オンラインは平日、対面は土曜日に実施）



参加者には京都大学経営管理大学院の履修証明書を授与

プログラムで学べる内容

体系的な知識の修得（オンライン授業）

このセクションでは、経営戦略、リーダーシップ、ガバナンス、財務等、トップマネジメントに求められる基礎的な科目を学びます。

女性エグゼクティブに特化した知識の習得（オンライン授業）

このセクションでは取締役会での行動様式や、組織内外のネットワークづくりなど、ジェンダーの固定観念にまつわる問題、そして社外取締役の視点から見たガバナンス改革、ダイバーシティの課題などを取り上げます。成功を収めている女性のプロフェッショナルと意見を交わす機会を得ることができます。

コーチング・セッション（対面授業）

受講者のロールモデルとなりうる女性経営者・女性経営幹部をメンターとして招き、受講者は自身が抱える課題に対してアドバイスを受けることができます。このセクションは、受講生によるグループプレゼンテーションと活発なディスカッションで構成されています。将来的に自立した女性リーダーとして活躍できるよう、アンコンシャス・バイアスをなくし、自己啓発を支援することにより、組織の中で直面する課題を克服する力を身につけます。

参加メンバー、講師陣、ゲストスピーカーとのネットワーキング

初回と最終回では、企業間ネットワークの構築のための機会を提供します。さらに、プログラム修了生のネットワークも構築いたします。プログラム修了後もイベントを通じて、現役の受講者と修了生がさまざまな分野の女性エグゼクティブと継続的に交流することが可能です。このプログラムで築かれた関係は、参加者の強みになることでしょう。

カリキュラム

プログラムの特色に合わせた、効果的なカリキュラムを提供します。

モジュール 2、3 はオンライン授業、モジュール 1、4、5 は対面授業を京都大学で実施します。

*カリキュラムは途中で変更となる場合があります

モジュール1：イントロダクション（3時間）

初回は京都大学で実施（ガイダンス＋自己紹介セッション）

モジュール2：基礎科目 オンライン講義（合計14時間）

エグゼクティブとして重要な基礎知識（基礎知識習得に重点）を学ぶ

・コーポレートガバナンス	1回2時間 × 1回 = 2時間
・経営戦略	1回2時間 × 1回 = 2時間
・人的資源管理	1回2時間 × 1回 = 2時間
・マーケティング論	1回2時間 × 1回 = 2時間
・コーポレートファイナンス	1回2時間 × 1回 = 2時間
・財務会計	1回2時間 × 1回 = 2時間
・管理会計	1回2時間 × 1回 = 2時間

モジュール3：専門科目 オンライン講義（合計14時間）

女性リーダーとリーダーシップに関する専門知識（ゲスト講師の講義、及び意見交換）

【専門科目Ⅰ】

・個の成長と人的資本	1回2時間 × 1回 = 2時間
・リーダーシップ論	1回2時間 × 1回 = 2時間
・取締役会の構成と多様性	1回2時間 × 1回 = 2時間

【専門科目Ⅱ】

・ジェンダーとイノベーション	1回2時間 × 1回 = 2時間
・ガラスの天井：課題と対策	1回2時間 × 1回 = 2時間
・女性幹部の課題とウェルビーイング	1回2時間 × 1回 = 2時間
・ウーマノミクス&女性社員の育て方	1回2時間 × 1回 = 2時間

モジュール4：先端科目 対面講義・セッション（合計30時間）

現役女性役員講師と議論できるインタラクティブセッション（講義：3時間、グループコーチング：2.5時間）

・女性社外役員と対話セッション&グループコーチングセッション	5.5時間
・女性社内役員（CXO）と対話セッション&グループコーチングセッション	5.5時間
・経営幹部としての会社運営の要諦&グループコーチングv	5.5時間
・パトキシカルリーダーシップ&グループコーチングセッション	5.5時間
・日本とグローバルにおけるリーダーシップの違い&グループコーチングセッション	5.5時間
・ダイバーシティとガバナンス時代のM&A	2.5時間

モジュール5：ネットワーキング&クロージング（合計3時間）

京都大学で最終のまとめ（各受講生によるプレゼン）

参加企業について

これまでの参加企業一覧（敬称略・順不同）

電機・電子機器・精密機器メーカー

オムロン、京セラ、島津製作所、セイコーエプソン
堀場製作所、堀場エステック、村田製作所、イシダ

機械・工作機械・重工業・電力

ダイキン工業、DMG 森精機、カナデピア、奥滝電気
電源開発（J-POWER）

化学・素材

住友ゴム工業、住友電気工業、関西ペイント
関西ペイントプラノー

医療・福祉・ヘルスケア

新日本科学、ニチイホールディングス
ニチイケアパレス

商社・流通

阪和興業

金融・証券・コンサル

みずほ証券、山田コンサルティンググループ

建設・不動産

大成建設

広告・メディア

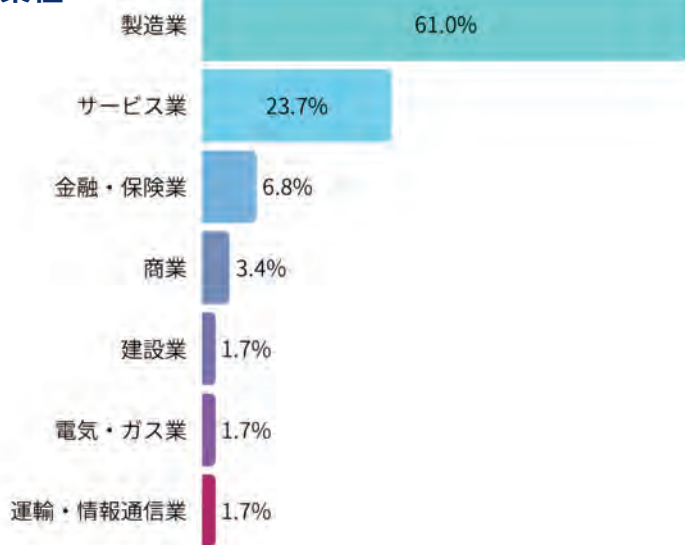
電通

その他サービス

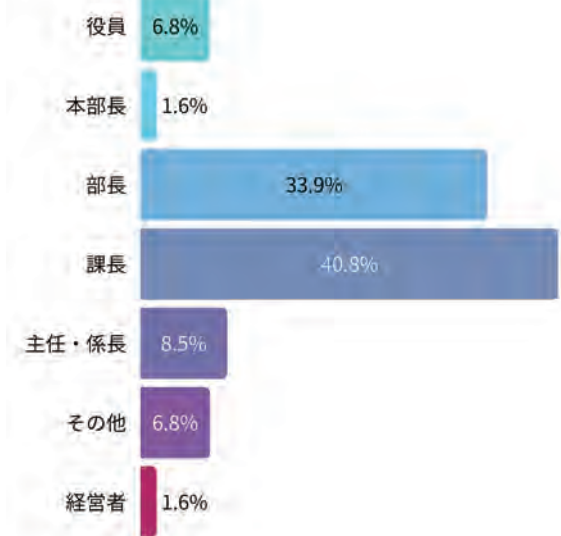
グリーンハウス、コンベンションリンケージ

参加者の傾向

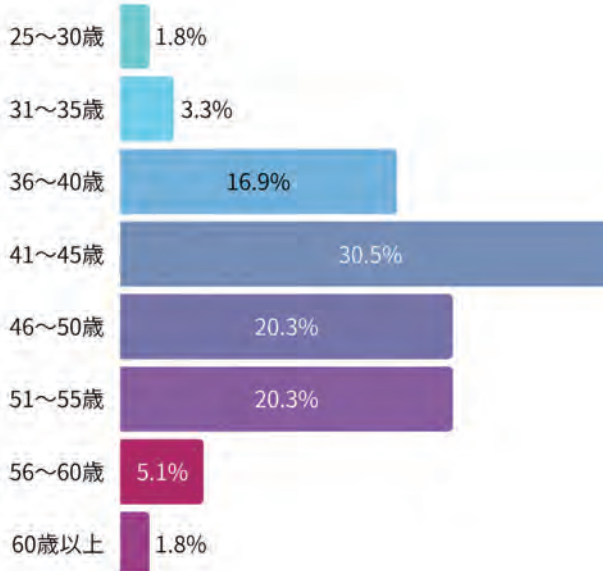
業種



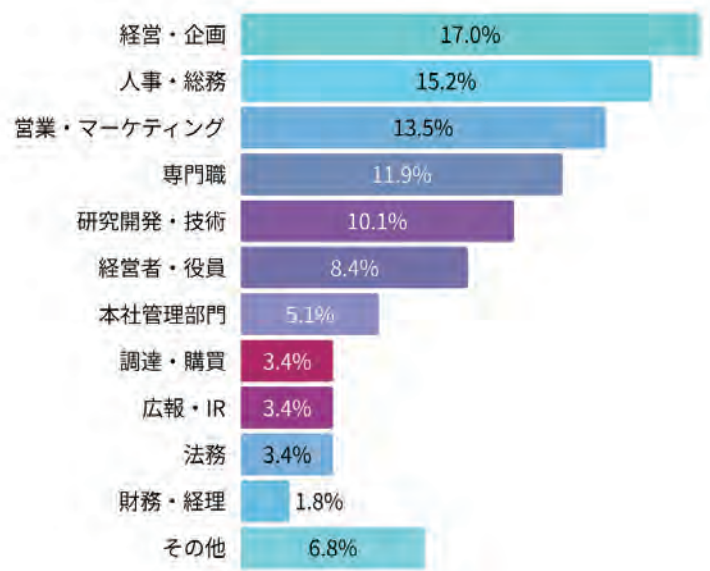
役職



年齢



職種



受講者の声

各講義を受講しての声

●女性活躍に求められる視点や、新たな役職に臨む際の心構えについて、講師陣のこれまでのご経験に基づいて語られるお話に深く感動しました。これまで受講してきた数々の研修の中でも、最も心に響く内容でした。

●講師の先生方からいただいたコメントや問いかけによって、これまで自分では気づけなかった視点に触れ、長年抱えていたモヤモヤが晴れるような感覚を味わう場面もありました。これまで自分の中で課題だと感じていたことに対し、どのように考え、どのように行動を変えていくべきかを示していただいた非常に示唆に富んだ講義でした。

●リーダーとしてのあり方や自身のキャリアを深く見つめ直す貴重な機会を得ることができました。中でも、どのようなリーダーになりたいのかを言語化し、具体的なアクションプランとして落とし込むプロセスは、自分自身と真摯に向き合う経験となり、大きな気づきがありました。

●コーチングセッションでは、DISC理論や戦略的ネットワーキングの手法など、実践的かつ再現性の高い学びを得ることができ、日常業務にもすぐに応用できる内容でした。

●全ての回において、必要十分なインプットとアウトプットが効率よく提供され、非常に満足しています。理論と実務が結びつく瞬間に立ち会えた実感があり、学びの深さを感じました。

●これまでの人生であまり接点がなかった業界の方々ばかりでしたのでお仕事のお話などとても興味深く伺えて勉強になりました。異業種交流ができたことは大変貴重な経験となりました。

●半年間のプログラムでしたが、私の人生にとって間違いなくターニングポイントになりました。

●女性マネジメントが直面する課題についても深く掘り下げられ、これまで何となく感じていた違和感や難しさを、言葉として明確に理解することができました。これにより、自身の置かれている状況を客観的にとらえ、どのように向き合っていくべきかを整理するヒントを得られたことは大きな成果でした。

●素晴らしい同期の受講生の皆様との出会いが大きな魅力のひとつです。他社で活躍されている女性リーダーの方々と率直に意見を交わす中で、自分自身の課題や強みを相対的に見直す機会となり、刺激と勇気をもらいました。「自分だけではない」と感じられたことが、行動変容への第一歩になったと感じています。

●体系的な知識のインプットと実践的なアウトプットの機会がバランスよく組み込まれており、単なる知識の習得にとどまらず、「高い視座」と「広い視野」を持つリーダーへと成長していくための道筋を示してくれました。今後もこの学びを継続し、社会や組織に貢献できる女性リーダーとして力を高めていきたいと思います。

●特に印象に残ったのは「コミュニケーションの大切さ」と「いつでもチャンスに備えておく姿勢」です。講師の先生方が口をそろえて伝えてくださった「まずはチャンスをつかんでみる」というメッセージに背中を押され、私自身も構えすぎずに挑戦してみようと思えるようになりました。半年間の学びを通じて、前向きなマインドセットを得られたことが大きな成果です。

●男性役員によるダイバーシティの講義の重要性、また社内での取り組みにおいても必要性を感じました。



対面講義の様子



グループコーチングの様子

教員紹介

(講師：五十音順)

コーディネーター

澤邊 紀生
さわべ のりお



京都大学経営管理大学院
院長・教授

京都大学経済学部、京都大学大学院経済学研究科修士課程、同博士後期課程退学。博士(経済学)。立命館大学助教授、九州大学助教授等を経て、現職。日本管理会計学会元副会長、日本原価計算研究会副会長、牧誠財団理事。専門は会計学、管理会計、マネジメントコントロール

コーディネーター

アスリ
チョルパン



京都大学経営管理大学院
教授

英リーズ大学経営工学修士、京都工芸繊維大学工学博士。京都大学経済研究所 研究員、京都大学白眉センター 准教授等を経て現職。ハーバード・ビジネス・スクール及び MIT 客員教授。住友ゴム工業株式会社社外監査役、関西ペイント株式会社社外取締役、住友電気工業株式会社社外取締役。専門は経営戦略、企業統治、国際経営、経営史

コーディネーター

関口 倫紀
せきぐち ともき



京都大学経営管理大学院
教授

東京大学文学部卒業、青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修了(MBA)、University of Washington Business School 博士課程修了(Ph.D.)。大阪大学大学院経済学研究科教授等を経て現職。専門は人的資源管理論・組織行動論

コーディネーター

幸田 博人
こうだ ひろと



京都大学経営管理大学院
特別教授

一橋大学経済学部卒業。日本興業銀行、みずほフィナンシャルグループ、みずほ証券常務執行役員、専務取締役、取締役副社長等を経て(株)イノベーション・インテリジェンス研究所社長(現職)。(株)産業革新投資機構社外取締役等。専門は資本市場制度、プライベート・エクイティ、イノベーション、人的資本関係

コーディネーター

我喜屋 まり子
がきや まりこ



京都大学経営管理大学院
客員教授

ハーバード大学大学院国際教育経営・社会政策博士課程修了。ハーバード大学公衆衛生大学院(SHINE)、ハーバード大学教育・法科大学院、東京大学大学院医学系研究科 ファカルティ・ディレクター、ホストグローバル・フォーラムなどの役員を歴任。国際女性ウェルネス財団アドバイザーボード。専門はグローバルリーダーシップ(DEI)、成人・組織学習戦略

コーディネーター

LIU Ting
りゅう てい



京都大学経営管理大学院
准教授

大阪大学経済学研究科経営学系専攻博士前期・後期課程修了(Ph.D.)、博士課程教育リーディングプログラム大阪大学超域イノベーション博士課程プログラム5年制修了。広島市立大学国際学部専任講師を経て現職。専門は国際人的資源管理、組織行動論、国際経営など

コーチング / オペレーションズマネージャー

増田 尚子
ますだ しょうこ



HKSM Consulting, LLC
主幹コンサルタント

American Express で各国にてグローバルマーケティングリーダーを20年ほど務めた後、Aetna/CVSで調査部を再構築。独立後、2017年より多国籍製薬会社の女性管理職コーチングに携わる。2020年、独自の女性トレーニングを設立、マイノリティー女性支援。国際コーチ連盟(PCC)及び欧州コーチング協議会認定コーチ。NY大学MBA。専門はExecutive coaching、Team coaching、Marketing research

コーチング / オペレーションズマネージャー

小林 博之
こばやし ひろゆき



株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント
代表取締役社長

東京大学法学部卒業、カリフォルニア大学バークレー校MBA取得。日本興業銀行、みずほ証券にて、コーポレート・コミュニケーション部長、ウェルスマネジメント本部長等を経て2017年より現職。トーセイ株式会社社外取締役、日本跡取り娘共育協会代表理事、日本ファミリービジネスアドバイザー協会理事・プレジデント、グロービス経営大学院教授。専門分野：戦略・ファイナンス・M&A、サステナビリティ等

講師 / コーチング

串田 ゆか
くした ゆか



株式会社J☆みらいメディカル
代表取締役社長

京都薬科大生物薬学科卒業、薬剤師。京都大学経営管理大学院修士(MBA)。京都大学博士(経営科学)。株式会社J☆みらいメディカル代表取締役社長(健康経営優良法人大規模法人の部5年連続取得)。ファーマクラスター株式会社取締役。学校法人京都薬科大学理事。株式会社ニプロ社外取締役。専門は組織行動論、人的資源管理(女性社員の育成)、医療機関経営、薬品分析、漢方薬治療

講師

秋山 咲恵
あきやま さぎえ



株式会社サキコーポレーション
ファウンダー

京都大学法学部卒業。アクセンチュアを経て起業。電子機器製造プロセス向けに画像認識技術を搭載した自動検査装置メーカーを創業し、世界的なブランドを構築する。25年の創業社長としての経験を活かし、複数の上場企業の社外取締役を務める。奈良女子大学工学部（起業論）客員教授。専門はアントレプレナーシップ、経営戦略、企業統治

講師

安部 和志
あんべ かずし



ソニーグループ株式会社
アドバイザー
ソニーユニバーシティ 学長

ソニー(株)(現ソニーグループ)入社以来、人事でキャリアを積む。ソニーマニュファクチャリングカンパニーUK、本社人事、テレビ事業部人事部を経て、エリクソン社との合併会社設立に関与。アメリカでエンターテインメント事業の人事を担当後、執行役員、執行役専務を経て2025年3月末退任。人事・組織施策のグローバルな企画、運用を経験。専門は人事、組織施策のグローバルな企画、運用

講師

井上 卓
いのうえ たかし



三菱UFJ信託銀行株式会社
法人コンサルティング部
シニアアドバイザー

京都大学法学部卒業。三菱重工工業勤務を経て現職。全国株懇連合会理事、東京株懇話会会長。経済産業省「新時代の株主総会プロセスの在り方研究会」委員、商事法務研究会「商事法の電子化に関する研究会（電子提供措置事項記載書面）」委員を歴任。専門は株主総会、取締役会、IR・SRに関する企業実務

講師

上田 亮子
うえだ りょうこ



京都大学経営管理大学院
客員教授

政策研究博士。みずほ証券（東京、ロンドン）、日本投資環境研究所において、コーポレート・ガバナンスや機関投資家の行動に関する研究に従事。公認会計士・監査審査会委員、金融審議会専門委員、IFRS財団 Management Commentary Consultative Committee 委員等を歴任。専門はコーポレート・ガバナンス、サステナビリティ、資本市場

講師

エドマン・クリスティン



セブン&アイ・ホールディングス
社外取締役

ストックホルム経済大学 MBA。H&M ジャパン代表取締役社長、GIVENCHY ジャパン社長兼 CEO、ZOZO 執行役員等を歴任。2025年より現職。専門はグローバル小売、ブランド戦略、デジタルトランスフォーメーション。

講師

岡 俊子
おか としこ



株式会社岡 & カンパニー
代表取締役

一橋大学卒業。ペンシルバニア大学ウォートンスクール MBA 修了。朝日アーサーアンダーセン、デロイト トーマツ コンサルティング、アビーム M&A コンサルティング株式会社 代表取締役社長、マーバルパートナーズ 代表取締役社長、PWC アドバイザリー合同会社 パートナー等を経て現職。専門は M&A、経営コンサルティング

講師

岡嶋 裕子
おかじま ゆうこ



京都先端科学大学経済経営学部
教授

大阪大学大学院情報科学研究科 特任准教授（常勤）。早稲田大学商学部卒業、大阪大学大学院国際公共政策研究科博士前期課程、同博士後期課程修了。博士（国際公共政策）。学部卒で Andersen Consulting（現アクセンチュア）、ベンチャー企業立ち上げ等を経験後、大阪大学未来戦略機構、同経営企画オフィスを経て現職。専門は人事経済学、労働経済学、教育経済学、人的資源管理

講師

澤田 拓子
さわだ たくこ



塩野義製薬株式会社
取締役副会長

京都大学農学部卒業後、塩野義製薬株式会社に入社、以来30年以上にわたり医薬品開発や経営戦略に携わる。グローバル医薬開発本部長、経営戦略本部長、取締役などの要職を歴任。2018年取締役副社長に就任、2020年よりヘルスケア戦略本部長兼務を経て、2022年取締役副会長就任。専門は経営戦略、研究開発、マーケティング、情報データ戦略

講師

津田 恵
つだ めぐむ



株式会社 日立製作所
Deputy CSuO 兼グローバル環境本部長
兼グローバルサステナビリティ本部長

2022年4月より日立製作所 サステナビリティ推進本部長、翌年より環境インターナショナルイニシアティブの本部長も兼務し同社の環境・社会価値創造の加速を担務。前職の大阪ガスでIR、CSR・環境、イノベーション推進部長を歴任。京都大学教育学部卒業、グローバル経営大学院 MBA、ハーバード大ケネディスクールフェロー。専門はサステナビリティ、組織行動とリーダーシップ

講師

原田 文代
はらだ ふみよ



日本政策投資銀行（DBJ）

東京大学経済学部経済学科卒業。世界銀行グループ国際金融公社（IFC）東アジア・太平洋局 Senior Investment Officer（インフラ担当）、DBJ Singapore Limited 副社長、DBJ ストラクチャードファイナンス部長、執行役員（GRIT 担当）兼経営企画部サステナビリティ経営室長等を経て、2022年6月より現職。専門はインフラファイナンス、サステナビリティ

講師

牧野 成史
まきの しげふみ



Shige Makino（シゲ マキノ）
京都大学大学院経済学研究科
教授

香港中文大学名誉教授。慶応義塾大学法学部卒業、同大学経営管理研究科（MBA）修了、Western University 博士課程修了（Ph.D.）。香港中文大学ビジネススクールで26年間教鞭をとり、現職に至る。Academy of International Business（AIB）フェロー。AIB 副会長、Association of Japanese Business Studies 会長を歴任。専門は経営戦略、国際経営、経営組織

講師

増山 美佳
ますやま みか



増山&Company 合同会社
代表

上智大学卒業。INSEAD（欧州経営大学院）MBA 修了。日本銀行、Cap Gemini Sogeti 仏本社、ジェミニ・コンサルティング・ジャパン、エゴンゼンダーを経て現職。立命館大学大学院経営管理研究科客員教授、上智大学特任教授、社外取締役を歴任。専門は経営人財の育成・組織開発、経営陣のサクセッション・プランニング、リーダーシップ、コーポレート・ガバナンス

講師

松井 キャシー
まつい キャシー



京都大学経営管理大学院
特命教授

ハーバード大学卒業、ジョンズホプキンス大学院修了。ゴールドマン・サックス証券会社副会長、グローバル・マクロ調査部アジア部門統括、チーフ日本株ストラテジストを経て、MPower Partners ジェネラルパートナー（現職）。専門はグローバル人材育成、ダイバーシティマネジメント

講師

御立 尚資
みたち たかし



京都大学経営管理大学院
客員教授

京都大学文学部米文学科卒。ハーバード大学より経営学修士を取得。ボストンコンサルティンググループ日本代表（2005年～2015年）。株式会社熟と爛会長、複数の上場企業社外取締役、ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン専務理事、大原芸術財団理事なども務めている。専門はリーダーシップ論、経営戦略、リスクマネジメント

講師

村井 暁子
むらい あきこ



株式会社フェニクシー
リーダーシップ・コーチ

上智大学法学部卒業、フレッチャー外交法律大学院修士、ジョージタウン大学リーダーシップ・コーチング・プログラム修了。シティバンク、ユニセフ、世界銀行グループを経て、京都大学経営管理大学院で教鞭をとり、現職。国際コーチ連盟 PCC 認定コーチ。サステナビリティをテーマにグローバル人材育成、組織開発を専門とする。

講師

山田 和郎
やまだ かずお



京都大学経営管理大学院
准教授

神戸大学経営学部卒業、神戸大学大学院経営学研究科修了（博士・商学）。立命館大学経営学部、長崎大学経済学部等を経て、現職。現在、日本経営財務研究会評議員、公認会計士試験試験委員。専門はコーポレート・ファイナンス、アントレプレナー・ファイナンス。

講師

好川 透
よしかわ とおる



早稲田大学社会科学部
教授

ヨーク大学（加）博士課程修了（経営学 Ph.D.）、シンガポール・マネジメント大学ビジネススクール（Lee Kong Chian School of Business）教授、マックマスター大学（加）ビジネススクール教授等を経て現職。専門はコーポレートガバナンス、企業戦略、グローバル戦略、同族経営など

講師

吉田 満梨
よしだ まり



神戸大学大学院経営学研究科
教授

神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了（博士・商学）、首都大学東京（現・東京都立大学）都市教養学部助教、立命館大学経営学部准教授、神戸大学大学院経営学研究科 准教授を経て2026年より現職。京都大学経営管理大学院哲学の企業家研究寄附講座客員准教授。専門はマーケティング論、マーケティング戦略論、起業家のマーケティング

他にも特別研修プログラムにて
講師陣をお迎えする予定です。

募集要項

本プログラムは、「京都大学女性エグゼクティブ・リーダー育成コンソーシアム」より提供いたします。そのため、プログラムに参加するにはコンソーシアムへの入会が必要です。

会費区分と年会費

法人会員 年会費：198万円（税込み）

追加1名様につき132万円（税込み）

①女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラム講義への参加が可能です。

*原則として、連結子会社および関連会社を含むグループ会社であれば、そのグループ会社社員も受講可能です。

②特別研修（年2回）に参加いただけます。

③各企業につき1名様のオブザーバー参加が可能です。

会員企業様に所属する方で、プログラム受講者でない方でも、お試して1名様がオンライン講義に2回まで参加可能です。

④個別企業相談を提供いたします。

⑤会員企業様の法人名を、京都大学 経営管理大学院 本プログラムのホームページに掲載いたします。

⑥同窓会等に参加いただけます。

協賛会員 年会費：5万円（税込み） ※特別研修の受講を希望する場合は、年会費：55万円（税込）

①各種イベント・活動に関するご案内を差し上げます。

②会員企業様の法人名を、京都大学 経営管理大学院 本プログラムのホームページに掲載いたします。

定員・選考 定員 40名

開催場所 オンライン（Zoom）および京都大学吉田キャンパス

対象・参加条件

対象：役員候補、又は将来に企業幹部になり得る女性。

（戸籍上の性別に限定せず、自己認識により女性として位置付ける方も含まれます。）

参加条件：以下の通りですが、適宜ご相談ください。

①原則として四年制大学を卒業しているか、またはそれと同等の能力を有している方。

②10年以上の実務経験を有する方。

③学習意欲の高い方で、授業への参加が70%以上可能な方（オンラインと対面のハイブリット方式です）

受講期間 2026年10月～2027年3月（毎年10月開講）。

オンライン授業（平日17時～19時）：全14回

対面授業（土曜日10時30分～17時）：全7回（月1回。ただし10月のみ開講式を含むため2回実施）

修了要件

- ・講義前の事前課題の提出
- ・最終報告会での発表等による評価
- ・出席状況による評価

履修証明書

本プログラム修了者には、京都大学 経営管理大学院長発行の修了証書を交付いたします。併せて履修証明プログラムの修了要件を満たした者には履修証明書を交付いたします。 *本プログラムは専門職修士（MBA）ではありません

同窓会ネットワーク

修了生の方はプログラムの同窓会メンバーとなり、修了後にもイベント等にご招待いたします。

お申込み・お問合せ

606-8501 京都市左京区吉田本町

京大オリジナル株式会社 京都大学女性エグゼクティブ・リーダー育成プログラム運営事務局

E-Mail：wel-contact@kyodai-original.co.jp

※本プログラムの一部業務は、京都大学経営管理大学院が京大オリジナル株式会社に委託し、実施しています。



京都大学経営管理大学院
Graduate School of Management, Kyoto University